

《人材育成への取り組み～新興プランテック株式会社～》

WES 保有者インタビュー

新興プランテック（本社：横浜市磯子区）には 2013 年 1 月現在で特別級 4 人、1 級 60 人、2 級 220 人の計 284 人の溶接管理技術者資格（WES）保有者が在籍する。今回は技術本部材料・溶接技術部の森伸行氏と上村雄氏に話を聞いた。

● 森 伸行氏（WES 1 級）

材料に応じた適切な溶接管理が仕事



森伸行氏は 1968 年入社「材料系スペシャリスト」。材料・溶接技術部では「主に材料関係のトラブルシューティングの指導と、突発的に発生するトラブル対応などに携わる」

入社当時は同社の前身である新潟鐵工所横浜工場の製缶部門で作業手順や工程管理を担当。「夜間の大学（芝浦工業大学）を卒業後は、材料関係の部署に移った。その後新潟工事に移籍すると腐食関係がメインになるが溶接関係のトラブルは新潟鐵工所の時代から関わっている。また、金属材料技術研究所の研究室にも 2 年間通った」

WES 保有者が担う役割については「現場において溶接施工者の管理は非常に重要」と指摘する。

「大規模な定修工事には材料・溶接技術部から 1 人が技術スタッフとして張り付くことになっているが、私は当社の技術スタッフの第 1 号として現場に派遣された。それ以降、現場に技術スタッフがいると便利だということで担当者には現場での経験とともに、WES をはじめとする資格取得を励行するようになった」

森氏は WES の 2 級と 1 級を 20 代で取得している。WES に関しては社会での認知度向上や資格としてより活用される環境整備を要望する一方、「当社のように保有者が多く在籍することは確かな教育を行っている証であり、企業の信頼度にはつながると思う」

特にメンテナンスの現場では「溶接を知っている技術スタッフがいると重宝される」。ただ、森氏

は溶接だけでなく「材料に対する知識も重要」と付け加える。

「何らかの損傷が発生した場合、材料の知識があれば適切な溶接材料を選択できるし、ダメージに合った補修要領を作成できる」

プラントの老朽化にともない、メンテナンス会社の担う役割は年々大きくなっている。

過去に現場の溶接補修で割れが改善されない事例があった。「古い材料なので事前の熱処理などしかるべき手順がある。担当した溶接技能者は手順どおり溶接したという。改めて指示したら割れは発生しなくなった。もちろん煙たがられることもあるが、材料に応じた適切な溶接を管理することこそ、施工管理者の仕事である」

「金属にはいろいろな顔がある」と語る森氏は現在、これまでに携わった様々な金属組織に関する調査結果や、トラブル事例などをまとめた資料づくりに取り組んでいる。「教科書には載っていない事例集ができれば後輩のためになる」

(もり・のぶゆき) 山形県出身、63 歳

● 上村 雄氏 (WES 1 級)

目標表明から 2 ヶ月後に受験、合格



上村雄氏は 2010 年の入社以来、同社技術本部材料・溶接技術部で損傷調査および評価に携わる。WES は 2011 年秋に 2 級、12 年春に 1 級を取得した。「当社では毎年上司と面接して年間目標を決める。昨年 3 月の面接時、WES 1 級取得を目標に掲げたが、その時点で秋の出張が決まっていたため、上司と相談の結果、急遽 2 ヶ月後の春の試験を受けることになった。11 年に目標を達成した 2 級取得から半年しか経っていなかったこともあり、前回勉強した内容が頭に残っているうちにと受験勉強に取りかかった」

同社では社内用にまとめた WES 受験専用テキストがある。また、部署の先輩による資料も参考になった。

「秋に受験するのがベストだったが、目標として宣言した以上引くに引けなくなった (笑) というのが正直なところ」と振り返る。

取材当日は本社磯子工場材料・溶接技術ラボでポンプのシャフト折損の原因調査を行っていたように通常は損傷調査および評価を担当するが、年に数回は現場に入る。

「当該プラントで溶接を施工する火気使用期間に入ると技術スタッフとして声がかかる。担当業務は WPS (溶接施工要領書) の作成や施工管理、先輩について施工法にも携わるなどさまざま。今

年3月の関西地区の出張は10日程度だが、昨年の京浜地区は火気使用期間が長く約2ヵ月現場に張り付いた」

10年に島根大学大学院を修了。「専攻は材料プロセス工学。金属に関しては勉強してきたが、溶接については現在の部署に配属後、一から勉強した」

材料・溶接技術部には自ら希望して入った。「損傷調査は顧客を納得させるのが仕事。なぜ壊れたのか突き詰めるところまで関わることにやりがいを感じている」

将来に話を向けると「様々な仕事に携わるというより、現在の担当業務をもっと深めたい。現場では顧客から信頼され、相談を受けることができる実力を備えた技術スタッフになりたい」

(うえむら・ゆう) 大阪府出身、28歳